



開館60周年記念  
**京都画壇の青春**  
 竹内栖鳳、上村松園につづく新世代たち

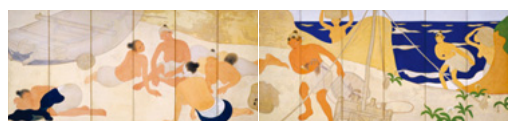
と き／10月13日(金)～12月10日(日) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都市立近代美術館(月曜休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-764-4111

京都の明治以降の美術界の歴史は、東京や西欧との対峙の歴史と言っても過言ではない。中でも明治末期頃の京都に芽吹いた近代化への芽吹きは目覚ましく、伝統に囚われない画家の個性が顕著に表現されるようになった。大正7年(1918)に京都絵画専門学校第1期卒業生5人が立ち上げた国画創作協会には、全国の若き俊英たちが作品を寄せて、旧態然とした日本画壇に新風を吹き込み、そのさざ波が帝展改組など大波へと全国に広がっていった。



岡本神草《口紅》  
 1918年第1回国展  
 (京都市立芸術大学芸術資料館蔵)

開館60周年記念展の本展においては、国画創作協会に集った俊英、新鋭日本画家の代表作や話題作を、土田麦僊を主軸に据えて並べながら、竹内栖鳳、上村松園、菊池契月、山口華楊、徳岡神泉らの名作を併せて展覧することにより、旧世代・新世代の画家たちが一丸となって、東京、西欧、



土田麦僊《海女》

そして京都の伝統に挑んだ様相を明らかにしようとするものである。

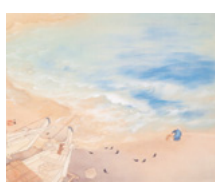
青春時代特有のアクと繊細さを併せ持ち、完成期とはまた異なる魅力を放つこれらの熱い時代の日本画の名作が一堂に並ぶ本展と、4階のコレクションルームの習作群と併せてみることで、久方振りに美術愛好家を美への感動に誘うこと必定の記念展となった。

京都市美術館開館90周年記念展  
**竹内栖鳳一破壊と創造のエネルギー**

と き／10月7日(土)～12月3日(日)、前期:10/7～11/5、後期:11/7～12/3  
 ところ／京都市京セラ美術館(祝日以外の月曜休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

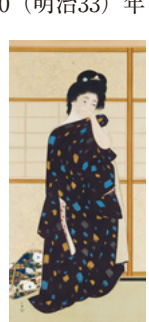


《大獅子図》  
 1902年(藤田美術館蔵)  
 11/14-12/3のみ展示



《潮沙去来》  
 1930年(MOA美術館蔵)  
 後期展示

近代京都日本画壇の先駆者として、その半世紀に及ぶ画業を通じて京都日本画の発展の素を築いた巨匠・竹内栖鳳。1900(明治33)年のパリ万博での受賞を機に行った欧州旅行後、ターナーやコロラから強い影響を受けて、旧雅号の棲鳳から西洋の西にちなんだ栖鳳に改めた。1907年の文展開設以来、帝展への移行後も審査員を務め、のちに帝室技芸員、帝国美術院会員となる。京都市立絵画専門学校(現京都市立芸術大学)開設とともに教授に就任、多くの



重要文化財  
 《絵になる最初》  
 1913年  
 (京都市美術館蔵) 後期展示



《観花》  
 1897年  
 (海の見える杜美術館蔵) 後期展示

後進を育てた。この間、古い常識を破壊し、新たな地平を創生する圧倒的な求心力で画壇をリードして、近代京都日本画の礎を築いた。

本展では、若年時代から円熟期までの画業を、第1章：栖鳳登場・京都画壇の麒麟児、第2章：栖鳳、世界へ・まだ見ぬ美術を求めて、第3章：日本画は一度破壊すべし・新しい時代へ、第4章：躍動する写生、第5章：栖鳳旅に出る・心の風景を探して、第6章：生き物たちの賛歌の6章だてにより回顧するものである。但し、前期・後期により作品の展示替えがあるので留意していただきたい。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	町のちからⅡ-阪東屋町文書の世界-																														→12/17
	3F	池大雅展-あるコレクターの視点/近重家王朝のみやび 陽明文庫の名宝13																														→12/3
	4F	もしも猫展																														
	5F	第60回 仏教美術展						第56回 心象書展						第34回 工芸美術創工会展																		
	6F																第52回 京都女流京華会 いげ花展			立命館大学 津道部5期 生卒部展「邂逅」												
別館	転生する超絶技巧 大塚オーミ陶業の芸術						KPA メイキング・ワークショップ 2024			講演会 音楽会			佐々木真弓・アトリエ・ステンドグラス展			日本・東南アジアの若手建築家による展覧会						貴久樹 天竺展			→12/5							
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	【伊藤裕司・竹中浩展 色之美】 休館日：毎月第2水曜、祝日(11/3)						休館日			下鴨小学校所蔵美術品展						休館日			下鴨小学校所蔵美術品展						→12/10							

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	京都画壇の青春－栖霞、松園につづく新世代たち																														→12/10
	4F	西洋近代美術作品選 京都画壇の青春画によって 抽象と現実：ポール・ストランドの写真を中心に															2023年度 第3回コレクション展 大正期洋画の個性派・友禪と型染 チョウの軌跡－長谷川三郎のイリュージョン 河井寛次郎の模様「拝啓、きょうきんぴ」															→12/17
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展 東福寺																														→12/3
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	コレクションルーム	秋季 特集 「Tardiologyへの道程」																														→12/17
	本館	京都市美術館開館90周年記念展 竹内栖霞 破壊と創生のエネルギー																														→12/3
		第86回新制作展					第50回記念 創画展					第78回行動展 京都巡回展					第107回二科展 京都巡回展					公募書藝北辰会展 京都2023 第45回 日本美術工芸会展					→12/3					
		井田幸昌展 Panta Rhei   パンタ・レイー世界が存在する限り																														→12/3
	東山 キューブ	MUCA展 ICONS of Urban Art ～バンクシーからカウズまで～																														→2024/1/8
	別館 1F	京都府 私立中学 高等学校 2023 「私学展」					第87回自由美術展					楽書會書展 第41回京都展					第30回 アトリエ奏作品展															
	別館 2F											第77回 新匠工芸会展					令和5年度 京都教育大学 書道研究室作品展															
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	汎具象秋季展 (洋画)					ハクの会作家展 (美工総合)					第72回象同人展 (美工総合)					7人の絵画展 (洋画)					光風会京都 作家展 (美総合)	→12/3									
	2F						第10回Etude展 (人物画勉強会有志展)					第26回日本画展きら					23水月会 書展															
	3F											祐の会展 (日本画)																				
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		企画展 大好き 印象の動物・鳥・昆虫企画展																														
何必館・京都現代美術館 東山区菟園町北側 525-1311		生誕140年・和の美を問う 北大路魯山人展 (祝日以外の月曜休廊)																														→12/24
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	京人形司十四世面庄 面屋庄甫の世界 伝統を踏まえて					隙間の間 東條明子展					服部しほりの百花展 －花に喰われて－					中里 隆 展					漆黒に美を創る 服部一斎漆芸 展					→12/4					
	アート サロン	吉川 仁 陶展					坂口 健 作陶展					村田真人 作陶展					大野俊明 押絵原画 展 高樹のぶ子著 「小説小野小町百夜」より					九世 高橋道八 茶陶展					→12/4					
	グランド ホール											松平彩子 陶展					～草木軸・蕪窯のうつわ～ 近藤裕久 作陶展					橋本よしこ 作陶展					→12/4					
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	山岡康子絵画展 ～こころ躍るパリParis～					画業55年記念 柳田補(たすく)展「永遠に」					偶然を生きるものたち 今井龍満 展					川村悦子 展 花はこころ					工房朋 市松人形展					→12/5					
	アート サロン	井上美紀日本画展 l'arcobaleno～虹～					渡部 香 油彩画展					矢直直彦 作陶展					田村洋子×若菜由三香 柔らかな日常					干支と聖夜 のおくりもの					→12/5					
	ミュージアム	川瀬巴水 旅と郷愁の風景																														
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		羽田家のキモノ (月曜休廊)																														→12/17
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		秋季特別展「並河靖之、その人生観－七宝と親交」 (月曜・木曜/祝日の場合は翌日に振替)																														→12/10
泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411		青銅器館特集展示 泉屋博古館×京都市動物園、青銅器になった動物たち (月曜休廊)																														→12/10
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
芦屋画廊 KYOTO 左京区頭町357-8 754-8556																																
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		深田充夫展 「心の世界」－アクア ～水をテーマにした立体とペン画～															手作り アート マルシェ					黒田峯夫 立体作品とやきもの 展					→12/10					
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		常設展																														
アートスペース柚 (ゆ)う 東山区二条通東山西入 090-6916-5353		沖谷晃司小品展 (月曜休廊) －やわらかい日々－										みずいろ 絵画教室展 Vol.4										見えないけど、展 小豆島美知 個展 (月曜休廊)										→12/3
Art Space 癒心庵 長岡京市今里畔町24-8 951-2788		小原古郎展 (毎週火・金曜のみ 完全予約制)																														
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	American Porcelain Painting & Craft	まさこの漆作品展					展覧会予定					2F K2展					絵筆展					楽描展					→12/3					
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		木版画常設展 (貸画廊受付中)																														
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		浮世絵・木版画。新版画常設																														

企：企画および常設を中心に活動する画廊 貸：貸画廊

開廊40周年記念展「円熟した力 Around70の芸術」〈シリーズ③〉

## 井上隆夫展 一黙する言語〈何故〉

と き／10月24日(火)～11月18日(土)12:00～6:00PM

と ころ／ギャラリー白川(日・月休廊)

京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

和紙を表現素材に新たな視点を提示する作品を多く手がけてきた井上が、役目を終えて捨てられ朽ちていく「廃材」をテーマに15年前から発表してきた「黙する言語」シリーズの5回目の個展です。



黙する言語〈剣なのか〉

30×110×3cm(一部) 素材:再生紙(折込広告用紙)

作品の素材は、広告用紙の紙粘土。木から紙が作られ、その紙に消費社会を煽るように印刷された折込広告用紙を素材に

「廃材」が再現され、紙粘土を圧縮した素材は元の木の密度へと還っていく。

「これは、かつて人が木と関わった時の想いが廃材となった後、自然の中でかすかに跡をとどめている『思いの形象』に賛美を捧げるものです。」と井上は語る。

どうぞ、ご高覧くださいませ。



展覧会風景イラストレーション「故郷の岸辺」より(2015)

## 深田充夫展「心の世界」ーアクア 水をテーマにした立体とペン画

と き／10月31日(火)～11月12日(日) 11:00AM～6:00PM

と ころ／アートギャラリー博宝堂(月曜休廊/最終日は5:00まで)

京都市左京区岡崎神宮道東側 ☎075-771-9401

私は、約40年間地球をテーマに風や光、水、命を表現してきました。

今回の「心の世界」ーアクアは、私が想像して描いたユニークで愛くるしい海の生き物たちのペン画、水をイメージした立体、命あるものの振動を表現したステンレス彫刻を展示いたします。

私たちが生きるために最も大切な水。その大切な水が永遠に途絶えることなく美しく保たれることを願って制作いたしました。作品から現在の自然環境について何かを感じて頂ければ幸いです。

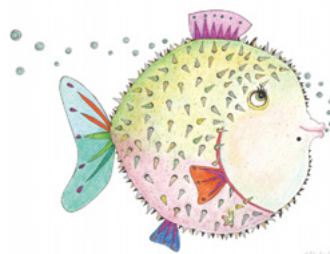
深田充夫

### 出品作品

ペン画 約15点 水滴オブジェ(ガラスと陶器) 5点 ステンレス彫刻 1点  
ポストカード等

### 深田充夫略歴

- 1956年 滋賀県に生まれる
- 1978年 京都精華短期大学立体造形専攻科卒業、京展'78 市長賞/京都市美術館
- 1981年 第2回ヘンリー・ムーア大賞展 優秀賞受賞
- 1983年 第3回ヘンリー・ムーア大賞展 美ヶ原高原美術館賞受賞
- 1993年 第1回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展 特別優秀賞受賞
- 1996年 彩の国さいたま彫刻バラエティ'96 大賞受賞
- 2000年 丸の内仲通り彫刻展(三菱地所、箱根彫刻の森美術館選定)/東京都
- 2004年 第8回KAJIMA彫刻コンクール 金賞受賞
- 2005年 京展'05 京展賞受賞/京都府
- 2012年 第22回AACA賞 優秀賞受賞/日本建築美術工芸協会
- 2013年 彫刻家 深田充夫展 石、水と大地/ドイツ
- 2014年 第15回世界湖沼会議参加(ペン画)/イタリア
- 2016年 滋賀県文化賞受賞
- 2021年 秀明文化賞受賞/MIHO MUSEUM 他



「トンガリちゃん」



「ネムくん」



「ボロロちゃん」



## 日本の風土を彩る福井の赤 福井 勇 遺作展

と き／10月31日(火)～11月19日(日) 10:30AM～6:00PM  
 ところ／星野画廊 (毎週月曜と11/12(日)は休廊)  
 京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

福井勇(1908-1988)は、京都府綾部市に生まれ、京都府師範学校を卒業して教職の道に進んだ。画家としては、関西美術院で都鳥英喜と黒田重太郎に師事し、戦前二科展に出品し、京都市展では3度の市長賞を受賞した。戦後は行動展結成に参加し、同会員として出品を続けた。

京都精華短期大学(のち大学)の教授として後進を育て、81(昭和56)年に京都精華学園理事長、関西美術院理事長となる。1983(昭和58)年には京都府文化賞功労賞を受賞した。

生涯のほとんどを画家として亀岡市の穴太寺に隣接したアトリエでの作画に没頭した。福井の描く情感溢れる自然賛歌の絵画は多くの愛好家に愛された。その没後、代表作の多くは美術館や京都精華大学に寄贈されて保存されているが、柿、栗、虞美人草など、最も愛された小品は散逸してしまい、福井絵画世界の魅力が全然知られていない時代になっている。

気候変動により世界中の自然が、日本固有の風土が危機に瀕している。自然環境ばかりではない。現代社会には、世代を問わず物事をAIやITのみでこと足りると片付ける風潮が支配している。

だからこそ今、福井勇の純朴ながら奥深い精神性豊かな絵画世界を紹介することで、私たち日本人が忘れていたものを取り戻していただきたく本展を企画した。長い間、時間をかけて収集した30点強の小品の優品。是非ご高覧を。



「鵜頭のある風景」  
1979年 20号F



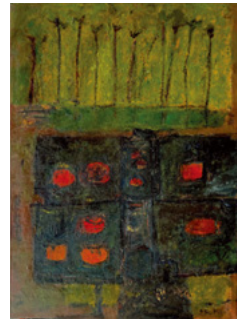
「秋の静物」  
1950年代 8号F



「柿・栗図」  
1969年 10号M



「花(虞美人草)」  
1971年 6号F



「樹・柿・瓦」  
1967年 京展 30号P

## 上田 泰江 展 —最終回—

と き／11月1日(水)～8日(水) 12:00～6:00PM  
 ところ／蔵丘洞画廊 (会期中無休)  
 京都市中京区河原町通御池西入ル南側 ☎075-255-2232

数カ月前には体調が悪くて、いよいよもうダメと上田泰江ご本人も言われ、私も覚悟していると、この10年ほどの出来事が走馬灯のように巡ってきました。

他人に伝わることを拒絶するかのような、あまりに純粋で孤独な仕事は彼女が30年前に絵画に転向して以来の姿勢。この人の仕事を伝え広めようと私なりに奮闘してきた年月を。

ところがふと思うことがあって9月の中頃に電話をしてみると、すっかり元気な声で、私もちょうど連絡しようと思っていたところでした!と仰る。93才、独り暮らしで体調が悪くなると、ご本人もやはり弱気に。しかし薬が効くと急にまだまだやれそうと元気に。この数年はこういった繰り返し。作品を生み出すことが生きがいという気力だけが彼女を支えている。しかしあまり追い詰めてもいけないし冷静に眺めると、いよいよ納得のいく作品を次々生み出すのは難しそう。

どうやら彼女の仕事を紹介する蔵丘洞の展覧会は今回を最後にするのがよさそうと思います。そんなわけで最終回は以前に紹介した作品も含め、いくつかはアトリエからの収穫とで、上田泰江という画家の実力を展覧します。



「土は生きている」  
20F



「待ち」  
27.3×48.2cm



「白と黒」  
6F



「池から飛び出て来たもの」  
20F

[今月の展覧会より]

## 生誕110年・評伝出版記念 塔本シスコ展

と き/11月3日(金・祝)～25日(土) 1:00PM～6:00PM  
ところ/ギャラリー宮脇 (月曜休廊)  
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

花々や果実、鳥や虫、猫、月、家族との生活、懐かしい故郷の記憶…などを描いた独学・素朴の画家・塔本シスコ。その生誕110年展を開催する。

孫・福迫弥麻による初評伝「私は死ぬるまで絵を描きましょう」と収録し、絵を全編に散りばめた『塔本シスコ 絵と絵と絵の人生』(katsura books)が刊行される。波瀾に満ちた前半生を乗り越え、50歳を過ぎてから絵を描き始め、2005年に91歳で亡くなるまでの40年近くの間、天真爛漫に絵を描きまくったシスコのアトリエは、息子夫婦と孫二人と同居する団地の四畳半の自室。そこで日常のすべての出来事が日記のように絵になっていった。



「背割堤防 研作とシスコ散歩する」  
2000年 油彩40号

本展は2021～22年に巡回した大規模な美術館回顧展後をはじめでの画廊個展。

初期から最晩年の油絵、オブジェなど、巡回展出品作を含む貴重な遺作の数々を展覧する。



「ミアとヒデシさん花見」  
1999年 油彩40号

### ★予約制イベント

11月3日午後3時半～いいしんじのその場小説

「えのぐがいのち～シスコのための短いおはなし」(申込先着順・定員40名・参加費千円)

## 沖谷晃司小品展 —やわらかい日々—

と き/11月3日(金)～12日(日) 12:00～6:00PM (最終日は5:00PMまで)  
ところ/アートスペース袖YOU (月曜休廊)  
京都市左京区二条通東大路通西入ル ☎090-6916-5353(豊田)



「娘と猫」2023年  
0号 (180×140mm) 紙本墨彩

一匹の猫と暮らしはじめ5年になり、少しずつ猫を題材とした作品が増えてきました。野生や可愛らしさ、ユーモアとはなにかを日々スケッチしながら学んでいます。

アートスペース袖YOUでの個展は2回目になります。娘と猫を題材とした小作品を中心に展示し、今回はより簡素化した線描を試みました。ゆったりとした空間に出来ればと思っています。磁器作品、扇子、絵はがきの新作も展示即売致しますので是非、遊びに来てください。(沖谷晃司)



「少年」2023年  
0号変形 202×142mm 紙本墨彩



「猫と羊歯」2023年  
SM 227×158mm 紙本着彩

### 子どもの情景

沖谷先生の「ねこ」を求めてお父さんと来場した小学生のA子さんでもすでに完売

がっかりした気持ちを全身に滲ませて帰って行った1カ月後「ねこアール展」に早々と来場

ピッと指差したその先には、キリッとみつめる猫の作品気に入った作品を手嬉しさを背中いっぱいに滲ませて帰って行った

子どもに愛される沖谷晃司小品展

アートスペース袖 豊田成子

### 沖谷晃司略歴

1971年 石川に生まれる  
1997年 京都市立芸術大学大学院 修了  
1998年 花鳥画展/大賞 (松伯美術館)  
2015年 通天閣天井画復刻  
2019年 個展 (ギャラリー恵風)  
「令和・京・美人」展 (銀座葛屋書店 GINZA ATRIUM/東京)  
2020年 「万人 佳人」展 (Art Space-MEISEI)  
2021年 個展-季節の出会い- (ギャラリー恵風)  
2022年 第13回アダチUKIYO大賞/優秀賞  
小品展～花や猫や女性や～ (アートスペース袖YOU)  
2023年 小品展～花や猫や女性や～ (T-BOX/東京)  
個展-のんびりした日々- (ギャラリー恵風)



# 第30回 書画まつり

と き／11月11日(土)～11月19日(日) 10：00AM～6：00PM

ところ／ギャラリー鉄斎堂 (会期中無休)

京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262 ☎075-531-6164

この度、第30回書画まつりを開催させて頂きます。江戸時代から昭和末迄の日本画を中心に1万円から、600点余りを展示即売させていただきます。

沢山の中からお気に入りの作品と出会っていただけるものと思っております。また、弊社ホームページでも全作品をご覧いただけます。

### 主な出品作家

古画より－円山応挙、長澤蘆雪、松村呉春、土佐光起、岡本秋暉、仙厓義梵、ほか

新画より－竹内栖鳳、上村松園、富岡鉄斎、橋本関雪、富田溪仙、小野竹喬、福田平八郎、山口華楊、秋野不矩、安田靉彦、小林古径、杉山寧、須田国太郎ほか

道具より－大田垣蓮月、深見陶冶、島岡達三、鈴木治、近藤悠三、ほか 茶道具、漆器、蒔絵椀など



土佐光起「鶉」

仙厓義梵  
「松画賛」



今泉今右衛門  
「鍋島花瓶」



上村松園「十五夜」

●第30回 書画まつり カタログ (A4変型サイズ) 無料。  
ご希望の方はお電話下さい。(数に限りがあります)



山口華楊「春雪」



小野竹喬「秋」



小林古径「鮎」



須田国太郎「鳥」油彩



ホームページ  
<https://tessaido.jp>

## 嘯矢祭－其之百二十八－ 諫山 宝樹 展 たゆたう筆

と き／11月9日(木)～18日(土) 10：00AM～6：00PM

ところ／大雅堂1F展示室 (会期中無休)

京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

展覧会へ向けて…

古典画を学ぶ中で度々出会う画中の女性たちの装束やおおらかなポーズに惹かれ、自分なりに描き起こしてみたのが始まりでした。

そして古典画の中だけに留まらず、さまざまな着物の女性たちに魅了され制作へ広がっていきました。

作品を通して彼女たちを少しでも身近に感じていただければ幸いです。

プロフィール いさやま・たまじゅ

1980年 大阪府生まれ。

2003年 京都市立芸術大学日本画専攻卒業。

2005年 同大学院保存修復専攻修了。

大学院在学中より東映京都撮影所にて様々な時代劇の襖絵等の制作に携わる。

2019年 連続テレビ小説「スカーレット」の絵付・日本画指導。

2021～23年 八坂神社新年干支大絵馬奉納、

正寿院本堂襖絵21面奉納、金峯山寺蔵王権現蔵(紺紙金泥)奉納。

弊廊で2回目となる本展では、四曲一隻屏風も含め10～15点を展示予定。



「湯女図」 30号M

予告！ 京都画廊連合会主催  
「文化庁・京都市立芸術大学 移転記念 シンポジウム」

－ 芸術を育む街、京都に －

と き：2023年12月9日(土)12：00～14：00PM

ところ：キャンパスプラザ京都4階 第3講義室 (定員170人)

※終了後大学職員のご案内により大学新キャンパスを見学

(参加者の内、希望者のみ)

〈パネリスト〉今泉柔剛氏 (文化庁審議官)、赤松玉女氏 (京都市立芸術大学学長)、森口邦彦氏 (染色家・人間国宝・文化功労者)、川嶋渉氏 (日本画家・京都市立芸術大学美術学部教授)、山本麻友美氏 (京都芸術センター副館長)、司会 辻 喜代治氏 (成安造形大学名誉教授)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	荒賀文成展(陶芸) (木曜休廊)	中村譲司×竹俣勇彦展 陶×金属(木曜休廊)															水野幸一×みずのみさ展 陶×硝子															
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画・日本画常設展(土日祝休廊)																															
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																															
画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展(日祝休廊)																															
ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	陶・イラスト(浦本紀子) イラスト・フラワーアレンジ・布小物 (ふじわら・えつこ) 銅版画・イラスト(キムラ・トモミ) 3人展	手づくり工房 クラフト作品展 浪漫堂・谷内恵美					第3回 源展 見えちゃう 代表 岡本佳之					たま&Shippoy 安部和美					情熱の画家 絵画展 安食玄洋					→12/3										
喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793	土屋秋恆 水墨画展					松井周子日本画展 -風の小管-					Dara Collection 京都人のための ペルシア絨毯展					韓国民画グループ展 彩色兼美					呉服に志田 冬の會					→12/3						
ギャラリーM 中京区錦葉師高倉西 221-0979	邦楽を描く展 旅を絵にする・ヨーロッパ、中東編 原画 同時展(松本祐佳)																															
ギャラリー花友じゅらくだい 上京区智恵光院中立売上ル 451-6005	遠藤剛照作品常設展 (貸画廊受付中)																															
ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	前田はるな 作品展					四人展 peach club					清水光美 水彩・パステル画 展					風と森の作品展																
ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	平岡康次 写真展					貸ギャラリー受付中																										
ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	中井英夫個展2023 (月曜休廊)										權-Kai- (日本画)					竹下佳江展																
ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F	鶴田憲次・ 門川昭子 二人展 (平面)					奥田美恵子展(陶)					畠中沙綾(陶)・蛭田美保子(平面) 二人展					藤野裕美子展 (平面)					→12/3										
	2F						生あるもの展 (平面・立体)					一居孝明展(平面)					作田優希展 (平面)					→12/3										
ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	テソロ展 (ワイヤーアート・天然石)					チャリティー能面展(月曜休廊)										ノートルダム書道教室展 (11:00~17:00 月曜休廊)										→12/3						
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
ギャラリー佐野 中京区寺町錦葉師西北角 221-2767																いろはん展 (版画グループ展)					悠々會 (柴田良三 陶芸教室展)					→12/3						
ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																																
ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616	開廊40周年記念展「円熟した力 Around 70の芸術」シリーズ③ -井上隆夫展- 黙する言語(何故)															開廊40周年記念展 シーズン・ラオ展										→12/23						
ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	第5回 ユウジュンカイ展 (絵画等 4人展)					伊藤マリー-油彩画展 (油彩画)					あとりえ six 作品展 (ステンドグラス)					ミツナガ手織 作品展 (手織作品)					Xmas ミニ絵画展 (絵画等)											
ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入ル 751-9238	村山順子展-ケモノの着物 (染色)(月曜休廊)										植島美智子-展の方向(月曜休廊) (鉄によるインスタレーション)										ひろいのおこ展 一寸の紐 (染色)										→12/9	
ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎鶴町1-1 090-6605-0656	貸ギャラリー受付中																				2023□覚反応実験展 「カツカツ」											
ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																															
ギャラリーTAJIRO 東山区繩手通新橋下ル 0774-27-1733	小泉広明 洋画展															小林さと枝 絵画展					中田伸吾 紙こより画展					→12/3						
ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展										第30回 書画まつり (会期中無休)										常設展											
ギャラリー富小路 下京区富小路小橋下ル 090-7095-0576	GOND ART EXHIBITION -インドの森から始まる物語-					貸ギャラリー受付中																										
ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	中原史雄展(洋画)(月曜休廊)																									爽風会展 (染織)		→12/3				

【他所で見た展覧会】

- 「愛し、恋し、江戸絵画-若冲・北斎・江戸琳派」展：9月5日(火)~11月5日(日) 細見美術館(京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
- 「秋季企画展、若冲と応挙、第1期」展：9月10日(日)~11月12日(日) 相国寺承天閣美術館(京都市上京区今出川通烏丸東入 ☎075-231-0301)
- 「ゼロからわかる江戸絵画」展：10月18日(水)~1月8日(月) 福田美術館(京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
- 「開館20周年記念・古典籍の魅力」展：10月10日(火)~11月28日(日) 大谷大学博物館(京都市北区小山上総町 大谷大学内 ☎075-411-8483)
- 「裏千家十三代家元・圓能齊鉄中宗室-現代への礎-」展：9月26日(火)~12月3日(日) 茶道資料館(京都市上京区堀川通寺之内上ル ☎075-431-6474)
- 「定本 樂歴代」展：9月2日(土)~12月24日(日) 樂美術館(京都市上京区油小路一条下ル ☎075-414-0304)
- 「千年の秘仏と近江の情景」展・「みかたの多い美術館展」：10月7日(土)~11月19日(日) 滋賀県立美術館(大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)
- 「生涯270年 長沢芦雪、奇想の旅、天才絵師の全貌」展：10月7日(土)~12月3日(日) 大阪中之島美術館(大阪府北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「画人たちの仏教絵画-如春斎再び!」展：10月21日(土)~11月26日(日) 西宮市大谷記念美術館(兵庫県西宮市中浜町4-38 ☎0771-68-0081)
- 「Yokoo in WanderLand-横尾忠則の不思議の国」：9月16日(土)~12月24日(日) 横尾忠則現代美術館(神戸市灘区原田通3-8-30 ☎078-855-5607)
- 「Perfume COSTUME Museum」展：9月9日(土)~11月26日(日) 兵庫県立美術館(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-1011)
- 「仮面芸能の系譜-仮面芸能のふるさと奈良-」展：9月30日(土)~11月12日(日) 奈良県立美術館(奈良市登大路町10-6 ☎0742-23-3968)
- 「働く人びと、戦後/現代のヒューマンリズム」展：10月7日(土)~12月7日(日) 神戸市立小磯記念美術館(神戸市六甲アイランド公園内 ☎078-857-3737)

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1		
会場		日曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																																	
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	日下部 直起 展 -光の余韻- (二紀会委員)		難波洋子 個展 「生生流転」(創画会会友)		今村花子 個展 (絵画)		第10回 新制作協会 関西絵画部 会員展		第15回 瓜生山学園 京都芸術大学 通信教育部 洋画研究室 教員展		北村美佳 展 (二科会会員)																	→12/3					
貸企	奥庭 空間	RUST HUMAN 木村舜展 (月曜休廊)																														→12/24			
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜定休)																																	
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	山本あずみ (日本画)		山本あずみ (日本画)						山中晴夫 (木工)		金輪 葉 (テキスタイル)																	→12/3					
貸企		4F	Before Art Knew (平面)		室田 泉 (テキスタイル)		室田 泉 (テキスタイル)		室田 泉 (テキスタイル)		権 貴玉 (絵画)																								
貸企		5F	成安造形大学集織グループ 「恥ずかしいくれっと展」						サイアノタイプ展		山中 彩 (染色)																								
貸企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	貸ギャラリー受付中																																	
企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	芥川宏陶磁器展 2023		高木唯可 水彩画展		田村佐知子 古谷緋龍作品展		えびす谷工房 ピース作品展																	休廊										
企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																	
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	休廊	桐村 茜 版画展		休廊		藤田雄彦展 (水曜休廊)		休廊		常設展 (26日休廊)		休廊		常設展																				
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	生涯110年・許伝出版記念 塔本シスロ展 (PM1:00~PM6:00 月曜休廊)																																	
貸企	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	クリスマスの準備展 (月曜休廊/ただし、23日営業) クリスマスに最適な器・グラス・オブジェなどを順次展開																														→12/24			
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																	
企	京都芸大ギャラリーアークア 下京区塩小路高倉東入 253-1509	still moving final: うつしのまなざし 学長室壁画引越しプロジェクト (第2期) 京都市立芸術大学移転記念事業																																	
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2023 サムソン・ヤン「The World Falls Apart Into Facts」																																	
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町蓮光寺下ル 344-1305	きらめきはぐむ京都の学校と伝統工芸 - 西陣織・京友禅・京焼 - (水曜休廊)																																	
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1		
会場		日曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
貸企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F [月]	清永安雄 写真展 「Paris Sketch regrowth」																																→12/24
貸企		2F [花]	滝原逸郎 作品展 「挑戦する視点 動と静」		滝原逸郎 作品展 「挑戦する視点 動と静」		滝原逸郎 作品展 「挑戦する視点 動と静」		加藤文彦 写真展「はかない夢」																										→12/10
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作品の常設展示																																
貸企		2F	第六六回 京陶人形展 (水曜休廊)						第64回京都色絵陶芸展				山中辰次青瓷展 - 朝霧 -																	→12/6					
貸企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	第11回 子ども万華鏡大賞 公募展		28回 大萬画展		開館時間・開催期間は変更になる場合があります。 最新の情報は当館のHPにてご確認ください。		特別企画展 「うつろう染いろ」 日下部雅生 展																	→12/3										
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	中尾新也 個展		山崎俊江 展		奥倉 玲 作品展		伊藤五美 陶展		書と絵手紙 田村一美 展																	→12/3								
貸企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	閉廊																																	
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	上田泰江 展 ~最終回~ (会期中無休)		常設展 (水・金定休)																															
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展		嘴矢祭 - 其之百二十八 - 諫山宝樹 展		常設展																													
企	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武器全般																																	
企	梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510			森 萌衣 個展																															
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	日本の風土を彩る・福井の赤 福井勇遺作展 (毎月曜と11/12は休廊)															明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)																		

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。  
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ(<http://www.kyoto-art.net/>)では、  
すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>